

環境経営レポート

2020年度

(2019年10月～2020年9月)



認証番号0009918

光和工業株式会社

代表者 原田 螢湖

発行日 2020年12月24日

目次

1. 環境経営方針
2. 認証・登録範囲
3. 組織の概要
4. 環境経営目標とその実績及び評価
5. 環境経営計画、並びに取組結果とその評価
6. 中期環境経営目標(次年度目標を含む)
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無
8. 次年度環境経営計画
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示
10. 社会貢献



1.環境経営方針

「基本理念」

光和工業有限会社は、当社が行う事業を通じ、かけがえのない地球の環境保全が私たち世代の重要課題の一つであると考え、循環型社会実現のため、全社員一丸となって環境負荷の低減に取り組むとともに、継続的な改善を図ります。

「行動指針」

1. 自らが施工・提供する製品およびサービスに関する事業活動において、経営における課題とチャンスを考慮にいて、以下の事項を推進し継続的な改善を行います。
 - (1) 自らの責任に係る顧客からの苦情”〇”を目指します。
 - (2) 環境に配慮した工法を工夫し、推進します。
 - (3) 収集運搬に係る作業の環境負荷低減を図ります。

2. 環境目標を設定し、省エネルギー・省資源、水使用量の削減、化学物質使用量の削減、廃棄物の減量等を行います。
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減
電力使用量及びその他の石油起源エネルギー使用量削減
 - (2) 廃棄物排出量の削減
 - (3) 水使用量の削減
 - (4) 化学物質使用量の削減

3. 当社の環境活動に係わる法的要求事項及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。

4. 全従業員の参加による環境活動を推進します。

5. 環境経営方針は、全従業員に周知し環境経営レポートを公開します。

2013年7月1日 発行
2020年4月3日 改訂
2020年8月5日見直し
光和工業有限会社
取締役
原田 螢湖

2. 認証・登録範囲

- ・認証・登録事業者 光和工業株式会社
東京都品川区東大井2丁目6番1号
- ・事業活動 鋼構造物工事業、とび・土工工事業、管工事、建築工事業並びに産業廃棄物収集運搬業
- ・事業事業所 本社・工場
- ・対象組織 全社・全組織

3. 組織の概要

- (1) 事業者名 光和工業株式会社
- (2) 代表者名 取締役 原田 螢湖
- (3) 所在地 〒140-0011
東京都品川区東大井2丁目6番1号
- (4) 環境保全関係の担当者連絡先
環境管理責任者 中根 義雄
連絡担当者 安達 由美子
連絡先 電話：03-3458-1238
FAX：03-3458-1338
- (5) 事業活動 鋼構造物工事業、とび・土工工事業、管工事、建築工事業並びに産業廃棄物収集運搬業

(6) 事業規模

会計年度	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
売上高	区分	A:5億円未満	A:5億円未満	A:5億円未満	A:5億円未満	A:5億円未満	A:5億円未満
	指標	1.0	1.0	1.1	0.7	0.9	0.9
従業員	人数	10	10	10	9	8	11
事業所床面積	m ²	365	365	365	365	365	365

売上高は、2015年度を基準とし。指標値で示す。

- (7) 活動対象年度
環境活動 2019年10月～2020年9月
会計年度 当年7月～翌年6月
- (8) 環境活動レポート公表
 - ・次回作成予定 2021年12月末予定
 - ・環境経営レポートは、公表する。（当社ホームページ）また当社内では書類を準備し、閲覧可能な状態を保つ。

(9-1)建設業の許可

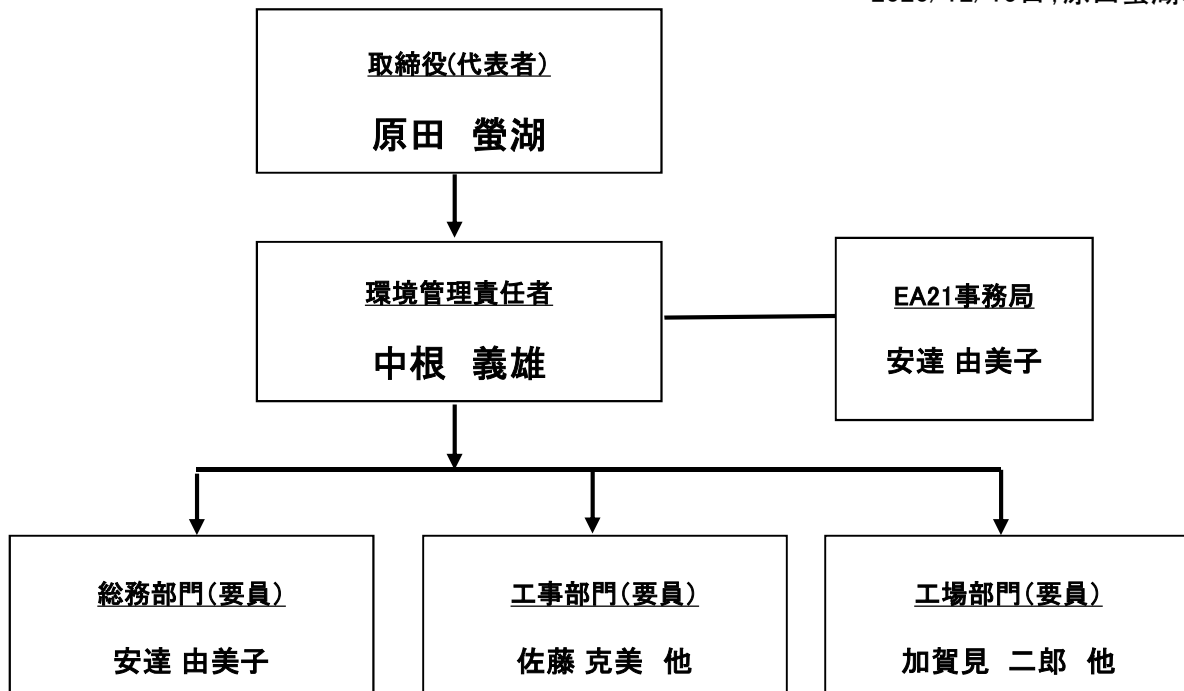
建設業許可 番号;東京都知事 認可(般-28)第42416号
許可種類 : 建築工事業、とび・土工工事業、管工事業、鋼構造物工事業
大工工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業
内装仕上工事業
有効期間 : 平成34年3月4日

(9-2)産業廃棄物収集運搬業の許可

都道府県及び政令市	区分	許可取得年月日及び有効期限	許可番号
東京都	収集運搬業	許可年月日:平成30年3月29日 有効期限日:平成35年3月29日	13-10-052520
神奈川県		許可年月日:令和元年5月20日 有効期限日:令和6年3月3日	01402052520
千葉県		許可年月日:令和2年6月12日 有効期限日:令和7年5月18日	01200052520
埼玉県		許可年月日:平成30年8月21日 有効期限日:平成35年7月16日	01100052520
許可内容;産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第一項の許可			
資本金	500万円		
法人設立年月日	昭和36年11月		
収集運搬事業計画の概要;エコアクション21取得 ①東京都内の現場より排出される廃棄物の収集運搬作業 ②神奈川県内の現場より排出される廃棄物の収集運搬作業 ③千葉県内及び埼玉県内の現場より排出される廃棄物の収集運搬作業			
運搬車両の種類と台数	品川130さ1682(4tユニック車) 品川430せ5055(2tパワーゲート車) 品川100す9861(2tワイド車) 以上3台		
積替保管施設;面積と保管上限量	62.7㎡ 約 8㎡		
運搬処理実績	2020年度(2019/10~2020/9) *廃プラ:11.8トン *金属くず:60トン *ガラス、陶磁器くず等:14トン *木くず:4.9トン *紙くず:1.2トン		
収集運搬料金	別途見積り		

環境体制(本社・工場)

2020/12/15日;原田螢湖、見直し



・役割、責任及び権限

代表者	環境経営方針の策定 課題とチャンス明確化 環境管理責任者の指名 経営資源の準備 法規制遵守、目標、実施計画等の指示と承認 環境経営レポートの承認 環境経営システムの見直しと指示
環境管理責任者	環境経営システムの構築と維持 環境経営システムの実施状況の確認と評価 産業廃棄物管理責任者、小型焼却炉管理責任者を兼ねる 変化している世の中の環境情報の把握 (顧客要求、法規制の改正情報等) 環境活動に関わる会議等の指示 環境経営レポートの作成
EA21事務局	環境管理責任者の指示により環境活動をサポート 環境負荷データのとりまとめ 環境外部コミュニケーションの窓口
要員	環境活動の運用と実施状況の把握 目標、実施計画の遂行

*要員には、代表者を含む

4. 環境経営目標とその実績及び評価

環境経営方針	環境経営目標	基準値(10月～9月) (2018年度)		2020年度 年間目標値 (10月～9月)	2020年度 半期実績 (10月～3月)	2020年度 年間実績 (10月～9月)	通期 評価	対目標削減値 ・目標-実績値=増減値 ・増減率=増減値/目標値 ・目標値オーバーの内容・記事
		2018年度 実績	仮基準値 (実績同値)	目標値 (仮基準値比 1%減)				
自らが施工・提供 する製品及び サービスに関する 事業活動①	・事業に関わる苦情“0” ・指標:前年比半減	0	0	0	0	0	達成	
	収集運搬車(ワゴン)の燃 比向上 (軽油k m/l)	5.6以上	5.6以上	5.7以上	—	7.6	達成	
二酸化炭素 排出量の削減	二酸化炭素排出量の削 減(kg-CO2/kWh)	24,695	24,695	24,448	15,813	31,936	未達成	増減値=7,488オーバー 増減率=30.6%オーバー
購入電力 使用量の削減	電力使用量の削減(KWh)	20,674	20,674	20,467	11,242	21,199	△	増減値=732オーバー 増減率=3.6%オーバー
石油起源エネ ルギー使用量削 減	軽油使用量の削減(ℓ)	4,792	4,792	4,740	3,611	7,349	未達成	増減値=2609オーバー 増減率=55%オーバー 是正処置表による。

令和1年7月修正・公表;二酸化炭素調整後排出係数 東京電力=0.462 (建設現場)、 LOOP電気=0.601 エネオス電気=0.509 (kg-CO2/kWh)

年度実績値が目途として目標値を10%オーバーした場合は、是正処置を行う。

定性的目標

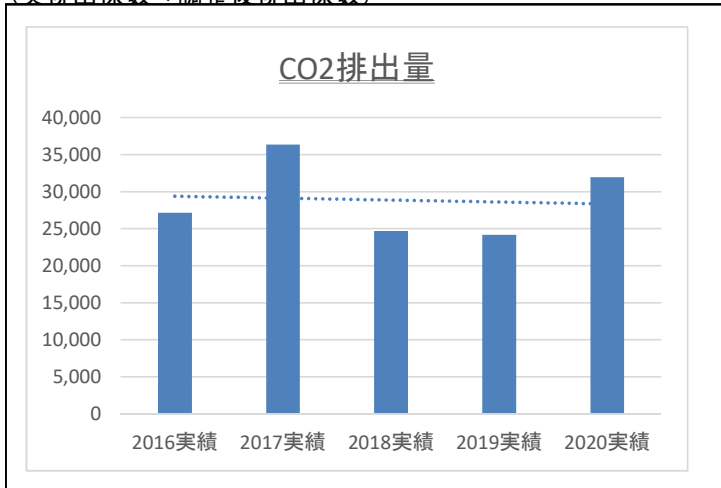
自らが施工・提供 する製品及び サービスに関する 事業活動②	環境配慮工法の工夫と推 進	定性目標 活動計画に よる	定性目標 活動計画に よる	定性目標 活動計画に よる	定性目標 活動計画に よる	定性目標 活動計画に よる	達成	
	収集運搬に係る作業の環 境負荷低減 ①収集運搬時の交通 ルートを検討する	定性目標 活動計画に よる	定性目標 活動計画に よる	定性目標 活動計画に よる	定性目標 活動計画に よる	定性目標 活動計画に よる	達成	
石油起源エネ ルギー使用量削 減	ガソリン使用量の削減(ℓ)	152	維持管理 152	維持管理 152	維持管理 65	維持管理 210	監視	・増減値=58オーバー
廃棄物排出量	産業廃棄物排出量 0kg (対象:本社工場排出分)	0	維持管理 0	維持管理 0	維持管理 0	維持管理 0	達成	
	事業系不燃ごみ10kg以下	10	維持管理 10以下	維持管理 10以下	維持管理 0	維持管理 0	達成	
	事業系可燃ごみ 150kg 以下	150	維持管理 150以下	維持管理 150以下	維持管理 38	維持管理 80	達成	
産廃収集運搬 品の分別徹底	分別結果の東京都定期 報告	定期報告 3回/年	維持管理し 3回/年報告	維持管理し 3回/年報告	—	維持管理し 3回/年報告	達成	
総排水量	水使用量の削減 120m ³ 以下	120	維持管理 120以下	維持管理 120以下	維持管理 58	維持管理 137	監視	・増減値=17オーバー

塗料・有機溶剤の化学物質、灯油等については不規則購入や購入量小等で、データは把握するが目標設定を行わない。

二酸化炭素排出量(kg-CO2)

	2016実績	2017実績	2018実績	2019実績	2020実績
CO2排出量	27,164	36,350	24,695	24,178	31,936

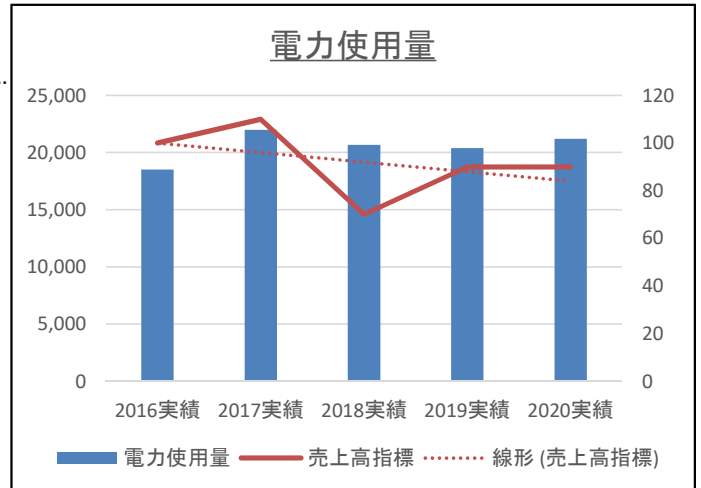
・二酸化炭素排出係数は、2020年度実績から変更した。
 煩雑なので、遑って修正は行わない。
 (実排出係数⇒調整後排出係数)



電力使用量(kWh)【売上対比】

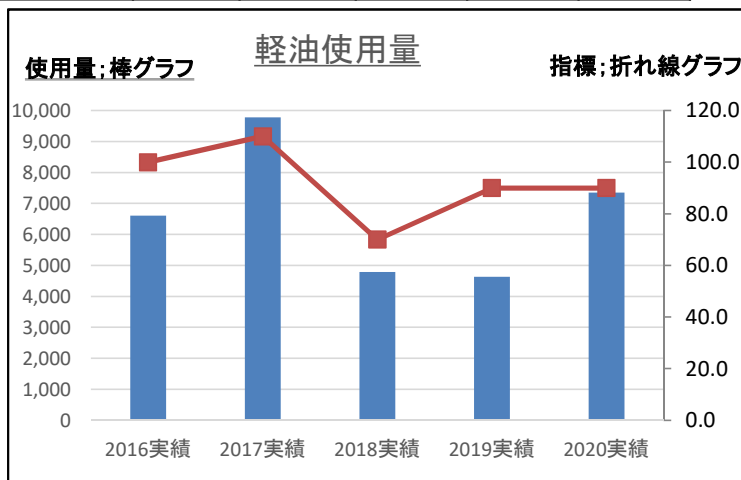
	2016実績	2017実績	2018実績	2019実績	2020実績
電力使用量	18,527	21,978	20,674	20,378	21,199
売上高指標	100	110	70	90	90

売上高指標;2015年度を基準(100)とした指標値



軽油使用量(L)

	2016実績	2017実績	2018実績	2019実績	2020実績
軽油使用量	6,608	9,776	4,792	4,631	7,349
売上高指標	100.0	110.0	70.0	90.0	90.0



今期は茨城・群馬・静岡等の遠距離現場が多かったため、自動車燃料の軽油の使用量が増加した。それがCO2排出量の増加の要因にもなっています。仕事量確保のため、遠距離現場の増加は、経営上止むを得ないと考えます。又、電力使用量は、工場の金物製作等の稼働状況により変動しますので極端な増減が無ければ、可とします。

5. 環境経営計画、並びに取組結果とその評価

主な取り組み内容は、以下による。

主な項目		活動計画	取組結果	評価
エネルギー削減 消費量	電力使用量の削減	①エアコンの適正温度管理を実施する。 夏季設定28℃、冬季20℃、定期的にフィルター清掃実施する。 ②不在時の消灯と休憩時間消灯の徹底管理を実施する。 ③稼動していない機械電源OFFを実施する。	実施	活動監視
	ガソリン及び軽油使用量の削減	①アイドリングストップ実施する。 ②急発進、急停止、しない運転を実施する。 ③適正な積載量を維持する。	実施	活動監視
個別計画	水使用量の削減	節水の意識を徹底する。	実施	活動監視
	廃棄物の削減	資源の分別管理による廃棄物削減及びリサイクルの向上。	実施	良好
	化学物質管理の徹底	適正管理及び保守点検。	実施	良好
	コミュニケーション	月例会の実施。	実施	良好
	社会貢献	①雨水タンクの設置と貯水、緑化。 ②養蜂。	実施	良好
製品 に関する 事業 活動 に	・事業に関わる苦情 “0”	元請の現場監督の指示を守る。	実施	良好
	環境配慮工法の 工夫と推進	①オリエンテーション時、引き合い時等、顧客提案。 ②現場でのプチ改善励行。	実施	良好
	①適切な交通ルート ②収集運搬車の燃費 向上	①急発進、急停止、しない運転を実施する。 ②過積載防止。 ③運搬基準の遵守。	実施	良好
工事現場・ 収集運搬 固有の 活動計画、 他	現場代理人への報告	始業・終業時の現場代理人への報告徹底。	実施	良好
	退出時の注意	・現場代理人の指示に従い退出。 ・退出時の荷物整理、整頓、清掃。	実施	良好
	廃棄物処理(下請負)	工事現場の廃棄物分別徹底。	実施	良好
	収集・運搬	・積載物と積載重量の遵守。 ・運搬車の表示及び携行の義務励行。	実施	良好
	作業手順の遵守	資材おろし後、指定場所へ必ず移動する。	実施	良好
	顧客要求	各現場の現場代理人の指示による。	実施	良好
	作業終了時の報告	カエルコールの励行。	実施	良好
	清掃・整理整頓	毎作業ごと、現場及び周辺の清掃、整理整頓の励行(毎日)。	実施	良好

建設現場の環境活動

①主な対象工事物件例

番号	項目	内容
1	工事件名	品川保健センター監視業務室内装改修工事
	現場住所	東京都品川区北品川3-11-22
	工事概要	内装工事
	工事期間	2019年10月～2019年10月
	請負の区分	元請
2	工事件名	横浜メディアタワー(21F・統制局)MACS空調更改工事
	現場住所	神奈川県横浜市西区みなとみらい4-7-3
	工事概要	機器撤去・搬入据付工事
	工事期間	2020年1月～2020年3月
	請負の区分	下請
3	工事件名	鈴ヶ森小学校南校舎便所改修工事
	現場住所	東京都品川区南大井4-16-2
	工事概要	便所改修工事
	工事期間	2020年2月～2020年3月
	請負の区分	元請
4	工事件名	NTT渡田(1F他・電気室)模様替衛生その他工事
	現場住所	神奈川県川崎市川崎区鋼管通4-4-1
	工事概要	機器撤去・搬入据付・金物工事
	工事期間	2020年4月～2020年7月
	請負の区分	下請
5	工事件名	国分寺水防対策衛生その他工事
	現場住所	東京都国分寺市本多2-13-1
	工事概要	機器撤去・仮設足場・金物工事
	工事期間	2020年4月～2020年9月
	請負の区分	下請

②建設現場の現状

番号	項目	単位	内容	備考
1	年間概略工事件数	件数	136	
2	電力使用量	kWh	計測不能(元請の管理)	
3	ガソリン使用量	ℓ	本社集計	
4	軽油使用量	ℓ	本社集計	
5	水使用量	m ³	計測不能(元請の管理)	
6	塗料・有機溶剤使用量	kg	本社集計	
7	事業系一般廃棄物 (弁当容器等)	kg	持ち帰り、本社集計	
8	産業廃棄物	kg	計測不能(元請の管理)	
9	建設現場の環境負荷 低減活動	----		

建設現場における環境活動は、現場の業務環境が異なり、一律に実施項目を定められない。

建設現場では安全第一とし、全て元請現場責任者の指示に従う。

・電力・廃棄物・水道等の環境負荷は、主に元請けが管理しており、数値で把握できない。

・ガソリン・軽油の化石燃料については、本社で集計している。

したがって、工事現場ごとの環境活動の結果が、どのような効果をもたらしたかは、判断しにくい。



6. 中期環境経営目標(次年度目標を含む)

環境経営方針	環境経営目標	基準値(10月～9月) (2018年度)		2019年度 目標 (10月～9月)	2020年度 目標 (10月～9月)	2021年度 目標 (10月～9月)
		2018年度 実績	仮基準値 (実績同値)	目標値 (仮基準値比 1%減)	2019年度 目標同値	2019年度 目標同値
自らが施工・提供 する製品及び サービスに関する 事業活動①	・事業に関わる苦情“0” ・指標:前年比半減	0	0	0	0	0
	収集運搬車の燃比向上 (km/ℓ)	5.6以上	5.6以上	5.7以上	5.7以上	5.7以上
二酸化炭素 排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2/kWh)	24,695	24,695	24,448	24,448	24,448
購入電力 使用量の削減	電力使用量の削減(kWh)	20,674	20,674	20,467	20,467	20,467
石油起源エネルギー 使用量削減	軽油使用量の削減(ℓ)	4,792	4,792	4,740	4,740	4,740

(1) 中期計画期間中は同値とし、年度実績値が目安として目標値を10%オーバーした場合は、是正処置を行う。

(2) 次期中期計画は、軽油使用に対する是正処置を考慮に入れて更新する。

又、二酸化炭素排出係数は、2017版ガイドラインに準拠し調整後排出係数を使用する。

定性的目標

自らが施工・提供 する製品及び サービスに関する 事業活動②	環境配慮工法の工夫と推進	定性目標 活動計画による	定性目標 活動計画による	定性目標 活動計画による	定性目標 活動計画による	定性目標 活動計画による
	収集運搬に係る作業の環境 負荷低減 ①収集運搬時の交通 ルートを検討する	定性目標 活動計画による	定性目標 活動計画による	定性目標 活動計画による	定性目標 活動計画による	定性目標 活動計画による
エネルギー使用 量	ガソリン使用量の削減(ℓ)	152	維持管理 152	維持管理 152	維持管理 152	維持管理 152
廃棄物排出量	産業廃棄物排出量 0kg (対象:本社工場排出分)	0	維持管理 0	維持管理 0	維持管理 0	維持管理 0
	事業系不燃ごみ10kg以下	10	維持管理 10以下	維持管理 10以下	維持管理 10以下	維持管理 10以下
	事業系可燃ごみ 150kg 以下	150	維持管理 150以下	維持管理 150以下	維持管理 150以下	維持管理 150以下
産廃収集運搬品の 分別徹底	分別結果の東京都定期 報告	定期報告 3回/年	維持管理し 3回/年報告	維持管理し 3回/年報告	維持管理し 3回/年報告	維持管理し 3回/年報告
水使用量の削減	水使用量の削減 120m ³ 以下	120	維持管理 120以下	維持管理 120以下	維持管理 120以下	維持管理 120以下

塗料・有機溶剤の化学物質、灯油等については不規則購入や購入量小等で、データは把握するが目標設定を行わない。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
以下の表は、遵守法令の一部を示す。

摘要法規則・条例	遵守事項	確認者	評価結果
品川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例	事業系一般廃棄物の排出基準	環責	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	保管基準、排出基準、マニフェストの管理、産業廃棄物管理責任者任命等	環責	遵守
東京都産業廃棄物の適正処理に向けた「報告・公表制度」	搬入・搬出実績や廃棄物の保管状況、施設の稼働状況など	環責	遵守
・都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 ・小規模廃棄物焼却炉の認定に関する指導要綱	品川区認定書遵守事項による小型焼却炉管理責任者任命	環責	遵守
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)	再資源化等実施義務	環責	遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコンの点検	環責	遵守
東京・千葉・埼玉・神奈川ディーゼル車走行規制(条例)	PM排出基準値以下(車検証)	環責	遵守

環境関連法規への違反・訴訟、及び行政からの違反の指摘・指導事項等は、過去3年間においてありません。
又、近隣からの苦情もありませんでした。

8. 次年度環境経営計画

主な取り組み内容は、以下です。

主な項目		活動計画	実施時期	責任者
消費エネルギー削減	電力使用量の削減	エアコンの適正温度管理を実施する	日常	環責
	ガソリン及び軽油使用量の削減	使用量削減の修正処置として、エコドライブを徹底する。	日常	環責
個別計画	水使用量の削減	節水の意識を徹底する	日常	環責
	廃棄物の削減	資源の分別管理による廃棄物削減及びリサイクルの向上	日常	環責
	化学物質管理の徹底	適正管理及び保守点検	日常	環責
	コミュニケーション	月例会の実施	日常	環責
	社会貢献	雨水タンクの設置と貯水、緑化、養蜂	日常	環責
事業活動に係る	・事業に関わる苦情“0”	元請の現場監督の指示を守る	日常	環責
	環境配慮工法の工夫と推進	オリエンテーション時、引き合い時等、顧客提案	日常	環責
	適切な交通ルート	過積載防止、運搬基準の遵守	日常	環責
	教育・訓練	建設作業に係る新入教育・OJTの実施	日常	環責
工事現場・収集運搬固有の活動計画、他	現場代理人への報告	始業・終業時の現場代理人への報告徹底	日常	環責
	退出時の注意	退出時の荷物整理、整頓、清掃	日常	環責
	廃棄物処理(下請負)	工事現場の廃棄物分別徹底	日常	環責
	収集・運搬	積載物と積載重量の遵守、運搬車の表示及び携行の義務励行	日常	環責
	作業手順の遵守	資材おろし後、指定場所へ必ず移動する	日常	環責
	顧客要求	各現場の現場代理人の指示による	日常	環責
	作業終了時の報告	カエルコールの励行	日常	環責
	清掃・整理整頓	毎作業ごと、現場及び周辺のコブ、整理整頓の励行(毎日)	日常	環責

10. 社会貢献

(1) 自社での養蜂

エコアクション21を始めてから、社員の環境への意識が高まり、工事現場からの産業廃棄物の分別強化によるリサイクルの推進等で、環境保全への効果を感じています。

又、今年で7年目となる弊社屋上での養蜂から100%純粋な蜂蜜が順調に採取出来るようになり、社員及び関係先の皆様へ提供し、健康増進に僅かながらでも貢献していると、自負しています。草花を増やすことや、養蜂から環境美化へつながってゆくことが多くあり、地域周辺の緑化の推進によって良好な景観作りをし、それが微力ながらCO2削減に繋がってゆくと思っています。このような日々の小さな取り組みが、ゆくゆくは地球温暖化防止へと結びつくことを信じて、これからも社会貢献と環境保全の持続に力を入れて取り組みを続けたいと思っています。



(2) しながわ はな海道とは、

春は菜の花、秋はコスモスのフラワーロードで、防潮堤に「花畑を作ろう」と地元商店街が中心となって始められた緑化プロジェクトです。河川の環境改善のための活動を行い、街づくりに貢献すると共に地域の憩いの場を提供しています。平成27年12月に『NPO法人しながわ はな海道』へ参加し、より一層地域との関わり合いを深め、ボランティアとして、運河沿いの花畑のための肥料作りや雨水の活用及び弊社の工事現場での廃棄物を利用して石の椅子を作り、それをはな海道へ設置するなど、地域の環境美化へ貢献しています。



「しながわ花海道」
ホームページから引用

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

(2019年10月～2020年9月)

代表者	原田 螢湖	実施日:2020年11月11日
報告者	中根 義雄、安達 由美子 (EA21事務局)	
インプット情報	情報内容・資料等	代表者コメント
1.前回審査の指摘事項対応	1.環境体制表に、改訂者・改訂日の記入。 2.環境経営目標値の見直し。	・新代表者就任後、改訂。 ・次期中期計画で考慮する。
2.外部・内部状況の変化	顧客現場代理人の世代交代並びに従業員減少による受注への影響は、大きい。	コミュニケーションの充実及び新人のOJT教育強化。
3.マネジメントシステム運用	概ね、計画通りに運用を行った。	運用上の問題発生時には、遅滞なく報告のこと。
①環境経営方針の設定	事業上の必要性、ガイドライン要求事項に沿って方向性を示してある。	2017年版適用で変更済。継続的改善を図ること。
②当社に係る環境法規制、及びその他の要求事項遵守	遵守事項を一覧表にまとめ、遵守状況を確認した。違反・訴訟・苦情等はない。	適用法令の最新版状態を維持すること。
③環境経営目標の達成状況	・環境経営目標未達成項目の是正を図る。増加傾向にあり注視している。 ・建設現場の産廃排出量は管理不可なので、目標から除外し監視する。 ・その他項目は、監視継続。	軽油の使用量は遠距離現場の増減に左右されるが、経営上止むを得ないので、売上高対比等の検討を図ること。
④環境経営計画の実施状況と評価	・月例会議が定着した、作業現場の状況も、ほぼ把握できるようになった。 ・追加する項があれば都度追加する。	・見える化が進み、コミュニケーションが取れるようになった。今期も推進のこと。
⑤実施体制	・人員不足解消に、外国人技能実習生を採用する。	新人の育成強化を図ること。教育方法を検討のこと。
4.外部からの苦情・要望等の有無及び訴訟の有無	・特になし	引き続き遵守。
5.その他特記事項	・特になし	・外部・内部のコミュニケーション重視。 ・安全第一。
代表者の総合コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・EA21の環境活動は、要員の認識が高まってきた。人員不足については、外国人技能実習生2名(ミャンマー人:20歳代)の採用が出来たので、新人の育成に努めた。 ・工事現場については、コミュニケーションを重視し苦情ゼロを継続のこと。 ・廃棄物については、ゴミを分別することによるリサイクル化を推進出来たので、継続すること。 EA21環境経営マネジメントシステムは、有効に運用している。	
変更の必要性可否判断	・環境経営方針	変更せず
	・環境経営目標・計画	変更検討
	・実施体制	新人教育の継続実施
	・環境マネジメントシステム	変更せず

* 現場毎で、エネルギーや物質使用量に変動があるため、そのデータを可能な限り把握する。また、活動を通して意見等があれば提案を行い活動の改善につなげていくこと・・・継続実施。